

兵庫朝鮮関係研究会・30 年を祝いました

『むくげ通信』261 号 (2013.11.24)

飛田雄一



兵庫朝鮮関係研究会（代表・徐根植）とむくげの会は盟友です。それぞれの記念日にはお祝いをしています。去る 11 月 17 日（日）は、兵朝研創立 30 周年の記念会が六甲苑で開かれました。これは、30 周年記念に出版された兵朝研 7 冊目の本、『在日韓国・朝鮮人の歴史と現在』（明石書店 2013.11、2800 円）の出版記念会でもありました。写真は、4 名著者と兵朝研会員の記念写真です。



その新著は、明石書店のホームページのコピーには、「様々な日本史の転換点のなかで重要な位置をしめてきた兵庫県地域。その歴史の転換点のなかで朝鮮とのつながりも深い。古代の文化交流や支配と被支配の複雑な関係が交錯する近現代の兵庫と朝鮮との関係を解き明かす論稿から兵庫地域の歴史的な位相を再考する」とあります。以下の目次のように多様です。

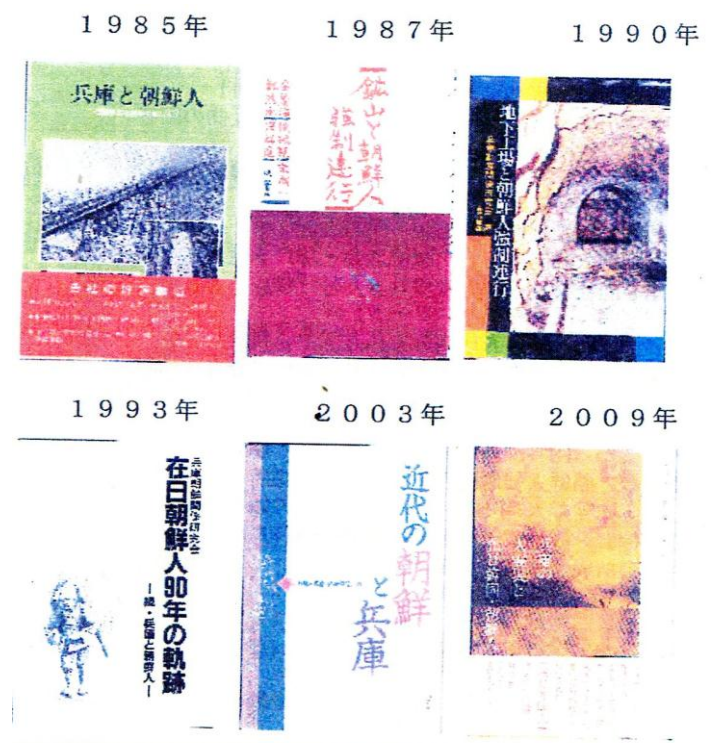
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
篠山市の在日コリアン足跡踏板	兵庫における朝連と建青・民団の抗争	兵庫の朝鮮建国国民学校について	兵庫と李奉昌	朴烈と兵庫	戦前の西宮協和会事業について ——在日朝鮮人の日本同化、皇民化策動の軌跡——	夙川朝鮮部落立退問題（一九二八年）の考察 ——解放前、西宮における最初の日・朝連抗争行動——	「朝鮮人はど、自由を得たる人民なし」 ——神戸に朝鮮船売りがやって来るまで——	「韓国併合」前、兵庫における朝鮮人の足跡	古代西宮の渡来人・百濟系（広田達）考 ——神功皇后の遺徳——
徐根植	徐根植	徐根植	高基二	高基二	安治元	安治元	高基二	安治元	安治元
287	287	248	226	183	160	147	56	32	6

兵朝研は、1983.11 故金慶海さんの呼びかけにより発足。合い言葉は、「記録しなければ歴史にならない」。その合い言葉どおりに、右の 7 冊の本を出して

きた。その他に、会員の金慶海、鄭鴻永、金英達、尹達世、高祐二、徐根植が単著を出しています。会報は、1986.2 に 1 号を発行し、最近号は 2013.9 の 159 号です。神戸電鉄と朝鮮人労働者、神戸港強制連行、篠山と朝鮮人などの調査に関わり、兵庫での在日朝鮮人史研究のリーダー的なグループで、その関連の図書も多くなされています。

午後 5 時から始まったパーティ。神戸強制連行調査の会代表でもあった安井三吉先生の乾杯の音頭で始まりました。約 40 名の参加者がおおいに歌い踊りしゃべり（踊りはなかった？）ました。むくげの会からは堀内が代表してあいさつ、山根がむくげ 20 周年記念（1992）昭和池・三草山大焼肉宴会での歌・釜山港に帰れ、司会は飛田でした。

パーティの中で DVD 上映がありました。たくさんの写真に音楽をあわせた 18 分。とても素晴らしい作品でした。オーディオに暗いむくげとしてはうらやましいかぎりでした。伝説の昭和池大焼肉の会もできました。



パーティは 8 時過ぎまで 3 時間を超えるものでした。兵朝研からみなさんへの感謝をこめてと新著も無料でいただきました。会費の 4000 円は、安いものでした。ありがとうございました。

兵朝研のみなさま、これからも末永くよろしく願います。お互いに飲みすぎには注意しましょう。